

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
健康教育	NSP33_002	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
伊丹 幸子 他	304	s.itami	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	人々の行動や意識がよりよい生活を指す方向に変化し、その人らしい豊かな人生の構築が図れるために健康と生活の質を高める健康教育における理論及び知識と技術を遠隔授業で学ぶ。健康教育の理論を基にヘルスプロモーションとの関連で理解し、健康教育の企画・指導案の作成を課題学習として各自行う。				
学習上の助言	主体的に授業、演習に参加し、実習で応用できるよう学習を深めてほしい。				
教科書	公衆衛生看護学 第2版/編:上野昌江、和泉京子/中央法規出版				
参考書	最新保健学講座 別巻1 健康教育論 第2版/編著:宮坂忠夫 他/メヂカルフレンド 健康教育マニュアル/編著:岡山明/日本家族計画協会 厚生省の指標 増刊 国民衛生の動向 2018/2019/厚生労働統計協会				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	健康教育の意義を理解し、主体的に授業に参加し、グループメンバーと協力できる。	NS(1)~(5)			
②	看護における健康教育の目的を説明できる。	NS(1)、(4)			
③	健康教育の基盤となるヘルスプロモーションの考え方を説明できる。	NS(2)、(3)、(5)			
④	看護の対象となる人々の健康課題を見出し、健康教育のテーマを設定できる。	NS(4)			
⑤	テーマに沿って、健康教育の企画案を作成できる。	NS(3)、(4)			
⑥	健康教育を展開し、評価することができる。	NS(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	健康教育の目的 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業	今まで自分が受けた健康教育について調べる。	1	
2	健康教育に必要な理論 健康教育の歴史的発展過程 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業	教科書から必要な理論を調べる。 歴史及び必要な理論について一覧表とする。	1	
3	健康教育に必要な理論 健康教育の方法と特徴 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業	3日間の食事表の作成	1	
4	健康教育の環境整備と媒体 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業		1	
5	健康教育のプログラム(実施計画)の立て方 評価指標の設定、評価の方法 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業	3日間の食事表のカロリーを計算する。	1	
6	健康教育の企画① ニーズアセスメント、目標設定 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業	自らの食事を評価する。	1	
7	健康教育の企画② プログラムの企画立案 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業	食事の改善計画を立てる	1	
8	健康教育の企画③ プログラムの企画立案 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	放送授業	健康の保持増進に活用できる生活習慣を調べる	1	
9	健康教育の企画④ 指導案の作成・指導に使用する媒体作成 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	放送授業	健康の保持増進、免疫向上を図るための 弁当の企画、作成を行う。	1	
10	健康教育の企画⑤ 指導案の作成・指導に使用する媒体作成 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業		1	
11	健康教育の実施、評価① 評価の方法とブレ発表 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	放送授業	健康教育のときに活用できる媒体を調べる。	1	
12	健康教育の企画⑥ プログラムの修正、媒体の作成 フィードバック：資料の送付 意見交換の機会：メール	印刷教材等による授業	作成した健康教育の修正を行う。	1	

[専門教育科目/看護の基本]

13	健康教育の実施、評価② 各自の成果発表 フィードバック：資料の送付	同時双方向型 授業	発表媒体を作成する。				1
14	意見交換の機会：メール		他者の発表について評価し、まとめる。				1
15	まとめ	放送授業	まとめ				1
レポート提出							
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	40	10	0	10	100
総合力 指標	知識・技術力	10	10	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						定期試験：基本的な知識と健康教育に関する考え方について問う。 試験後の講義で重要な事項を解説し、知識の定着を図る。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	課題について、自らの健康教育に対する意見を述べられることが重要である。				レポートは後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		健康教育の企画案を各自で立て、健康教育の模擬できることを目標とする。				各自にコメントをして、返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	自宅課題提出期限の厳守				取り組みについて成果物で判断する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
担当教員：◎伊丹 幸子、山崎 洋子 この科目は、地域住民や地域組織に対して、健康増進を目指して行う健康教育の実際を学ぶものである。担当教員が保健所や市町村勤務の実績があり、そこで得た経験を元にして、学生の理解を深めるように健康教育の手法やアイデアを取り入れ、授業を行う。 社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。							